



堀江 和雄
(公明)



民間のアイデアを生かした子ども子育て政策

Q 子ども子育て政策をど真ん中に置くために、出生数の減少の要因など関連するデータを提供して民間からアイデアを頂いてはどうか。

A 本市では重要施策の一つに子育て支援を掲げ、各種事業を実施している。子育て支援の施策立案には行政や地方のくくりを越えたより広い視点が必要であることから、三島市共創指針に基づき、課題解決に向けた民間との共創の取り組みを引き続き積極的に進めていく。

三島市が進める取り組みの戦略性を高める

Q ガーデンシティの取り組みを進展させ、自転車や電気・水素を活用した交通機関など環境グリーンシティを目指すことへの見解は。

A 第3次三島市環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの普及、省エネルギー・スマートムーブ・緑化の推進、河川・水資源の保全等の取り組みを順次実施し、緑豊かな環境負荷の少ない、安全安心で持続可能な環境グリーンシティの実現を目指していく。



他の質問事項
地域再生の主体は民間活用にあること



中村 仁
(緑水会)



未来に繋がる大場・函南に周辺土地開発事業

Q 現在実施している地権者への個別面談で高い同意率を得ている現状を踏まえ、本事業の今後のプロセスはどのようになると想定しているのか。

A 令和5年3月末頃を目途に地元において、土地区画整理事業の準備組合を設立し、令和5年度中に事業パートナーとなる民間企業の選定が考えられる。市では、令和7年度の市街化編入に向け都市計画手続等を進め、地元を全面的に支援し、早期事業化を目指していく。

受験生をはじめとする市民へのワクチン対応

Q 自治体によって大きな差がある新型コロナワクチン接種の年齢別の対応やワクチン廃棄の状況など、三島市の現状と経緯を伺う。

A ワクチン接種は18歳以上を対象に令和3年5月に高齢者から始め、4年4月に12歳以上、5月に5歳以上、11月に生後6か月からの接種を開始した。12月には病院の協力を得て12歳から17歳の予約枠を増やして対応した。なお、使用期限切れによる廃棄は938バイアルである。



他の質問事項
町内会別で違う三島市の公園管理の考え方



宮下 知朗
(新未来21)



北口自転車等駐車場の入出場時間見直し

Q 三島駅北口自転車等駐車場について、午前5時台の東海道線を利用する人も利用できるよう入出場時間を見直しはどうか。

A 三島駅北口自転車等駐車場は午前6時から午後12時まで出入庫可能であるが、東海道線の運行は午前5時からあるため、今後、アンケート調査等を通してニーズを把握するとともに、利用者の利便性向上を図るため、出入庫が可能となる時間の変更を検討していく。



地域学校協働本部の市民・団体との連携強化

Q 公共施設の複合化の動きを見据え、各施設を拠点に活動する市民・団体等と地域学校協働本部の活動との連携を模索できないか。

A 学校施設への複合化にあたっては、教育環境の確保および児童生徒や利用者の安全安心の確保が大切であると考えており、地域学校協働本部をはじめとするそれぞれの学校を支える各組織が連携して議論を深められるようサポートしていく。

他の質問事項
サイクルツーリズムの推進に向けた環境整備



藤江 康儀
(改革みしま)



三嶋大祭りをこれからも続けるために

Q 文化芸術継承の観点から、少子高齢化に伴う三嶋大祭りにおけるしやぎりおよび当番町制度の存続継続問題について伺う。

A 当番町以外の地区の自治会・町内会や、地域企業との連携によるサポート人員の確保、中高生を含めた演者の育成等、新たな取り組みをしている事例については、三嶋大祭り山車委員会において情報共有を図り、当番町制度の存続を支援する。



市民力を生かした文化芸術の街づくり

Q 市内にはギャラリー等の展示施設も開催頻度も少ない。市民目線に立ち、開催場所確保のため生涯学習センターの減免ができないか。

A 生涯学習センターの施設使用料については、生涯学習の振興という事業目的と、公共性を重視した基準となっている。条例施行規則にて、市が主催または共催する場合は全額減免、公共団体等が生涯学習目的で使用する場合は半額減免とする取り扱いを定め運用している。



石井 真人
(改革みしま)



三島駅南口東街区再開発事業に関する考え方

Q 物価高騰に伴う費用便益比の変動と実施設計後の工事費の見直しについて現時点でどのようになっているのかを伺う。

A 事業採算性を踏まえ、*ECI方式により施工計画の効率化などが検討されている。工事費が増加した場合の費用便益比の変動について一概には言えないが、費用便益比だけでなく、市の持続的な発展につながる事業となるよう取り組みむことが重要と考えている。

*ECI方式とは…プロジェクトの設計段階から施工者の技術力を設計内容に反映させ、コスト縮減や工期短縮を目的とする契約方式。

三島駅南北自由通路の今後の方針

Q 三島市民の悲願となっている三島駅南北自由通路の今後の方針と財政負担について伺う。

A 平成15年以降の協議で、唯一可能性のあるルートとして、既存の引込線を活用した案を検討したが、整備効果が見込めず白紙となっている。具体的な整備計画案がない現状では明確な財政負担を示すことは難しいが、整備に伴う市の負担は巨額になると考えている。



他の質問事項
豊岡市政のこれまで12年間の実績と評価

議会活動報告

議員研修会を開催しました

特定社会保険労務士の岡田順二さんを講師に招き、「ハラスメント防止」をテーマに議員研修会を開催しました。



研修では、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティーハラスメントなどさまざまなハラスメントについて、事例を交えたお話を聞くことができました。

議会活動報告

年末の交通安全県民運動初日一斉街頭広報を開催しました

令和4年12月15日

12月31日まで実施された年末の交通安全県民運動に伴い、三島市役所本館前道路にて、議員が啓発運動を行いました。

